



5/1

平和と明るい希望を聖火で繋ぐ 東京2020オリンピック聖火リレーを開催



東京2020オリンピックの聖火リレーが、5月1日と2日の2日間にわたって57年ぶりに沖縄県にて開催されました。宜野湾市区間を走る予定だった、德里亜紀乃さん、根神祥子さん、金ヶ江信綱さん、仲本兼さん、大田守秀さん、Richさん、中村晃大さん、平良朝敬さん、赤嶺諒一さん、岩井清祐さん、TONYさん、糸満敏寛さん、中田翼さん、ジョニー宜野湾さんの14名のランナーが名護市民会館周辺のコースを走り、聖火を繋ぎました。

5/12

沖縄のナイチンゲールと呼ばれた偉人 「すくぶん」の絵本と朗読CDを寄贈



宜野湾市社会福祉協議会へ、音訳・朗読ボランティアブーゲンビリア（大山ゆき子会長）、宜野湾市うちなゑぐち会（與儀清子会長）、眞玉橋ノブ研究所（眞玉橋加奈子・松岡由香子代表理事）より、看護婦として戦時、戦後の沖縄に関わった眞玉橋ノブを描いた「すくぶん」の絵本と朗読CDの寄贈がありました。「すくぶん」とは生まれ持った素質や、役目、役割を意味する方言で、絵本とCDはミニデイや子育てサロン等で活用していく予定です。

5/24

温かいご支援ありがとうございます 交通安全施設業協会より食料品の寄贈



沖縄県交通安全施設業協会より、生活に困っている世帯へ配布してほしいと、お米（3kg）50袋、乾麺35ケースの寄贈がありました。同協会は、道路標識などの交通安全施設に関わる技術の向上を通じて、安全な道路交通の確保に寄与することを目的に活動しています。（有）大日土木の平川悟代表取締役は「困っている世帯が増えて、食事もとれない子どもが多くいると聞いていますので、少しでも社会が明るくなってほしいと思います」と話しました。

5/26

広く市民の文化の創造と振興に努める 宜野湾市文化協会に城間新会長が就任



宜野湾市文化協会が新会長就任の挨拶を行いました。新会長に就任した城間盛久会長は「文化協会のメンバーがだんだんと減っており、若手も少なくなっている状態なので、会員を増やす努力を続けていきたい」と話し、文化・芸能の選択肢が昔と比べて増えており、若手にどう魅力を伝えるか等、多くのメンバーで活動を盛り上げたいと現状の問題点とその対策について語りました。同協会は各種文化活動の推進普及発展に寄与することを目的とし活動を行っています。

5/28

温かいご寄附ありがとうございます 宜野湾電設より普天間未来基金へ寄附金



株式会社宜野湾電設（仲村代表取締役社長）より普天間未来基金へ寄附金の贈呈がありました。仲村代表取締役は「たくさんの方の協力があって50年間やってこれました。今後も技術だけでなく人材育成や脱炭素化の実現等を通して沖縄県、宜野湾市から必要とされる会社作りを続けてまいります」と話しました。宜野湾電設は1971年に設立し今年で50周年という節目を迎える中、地域に貢献したいとの想いから、今回の寄附の運びになりました。

5/31

県内では初の包括業務委託になります 上下水道局お客様センター開所式



上下水道局にて、お客様センターの設置開所式が行われました。島袋清松上下水道局長は「本業務委託を受託していただきます『ぎのわん水道サービス合同会社』には、安全安心で質の高い市民サービスが安定的に持続されますことを心より期待しております」とあいさつしました。本事業は、水道事業と下水道事業の組織統合を行い、水道と下水道に共通する業務や類似業務の統合によるコストの削減や市民サービスの向上を図っております。